

「ちよだスマートスクール」の実現に向けたこれまでの取組

授業指針 スタート編

つながる
創り出す
切り拓く

Connect Create Pioneer

一人一台からの学びを創る千代田ICT授業指針
スタート編

令和2年10月
千代田区教育委員会

令和三年三月
全ての普通教室・特別教室に
大型提示装置（80インチ）
及び実物投影機の
整備完了

授業指針 リプレース編

つながる
創り出す
切り拓く

Connect Create Pioneer

一人一台からの学びを創る千代田ICT授業指針
リプレース編

令和3年9月
千代田区教育委員会

令和3年度実践事例集

一人一台タブレット端末
活用実践事例集

ちよだスマートスクール
2022年度実践事例集

令和4年3月
千代田区教育委員会

2022
学校情報化
先進地域
JAET

学校情報化
優良校
JAET

全11校が認定

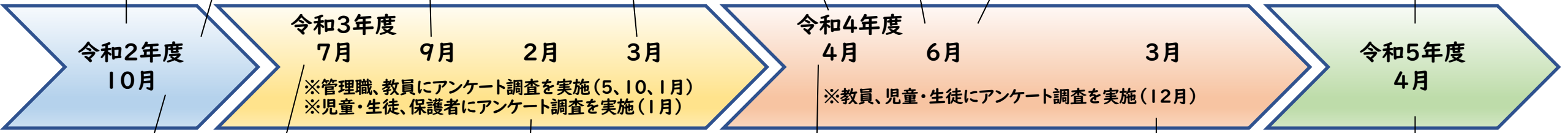
クラウドを活用した実践事例の共有

様々な情報収集の方法

1 情報収集をしよう

インターネット検索、二次元コードの読取、写真や動画による記録

初任者・異動者を対象とした研修



令和二年十一月
(教員用の端末含む)
一人一台タブレット端末整備完了

第1回保護者向けセミナー

「GIGAスクール構想」保護者向け
オンラインセミナー開催のお知らせ

開催日時: 令和3年7月17日(土) 午前10時から午前11時30分まで

第1部 午前10時から午前11時30分まで
(1) GIGAスクール構想について
(2) 区立小中学校のICT活用について

第2部 午前11時30分から午前12時30分まで
講演: 株式会社 教育ネット

参加方法: YouTubeライブ配信を行います。視聴を希望される方は
7月15日(木)までに、次の二次元コード又はURLから一度
アクセスの登録を行ってください。

URL: <https://survey.ednet.net/works/Zamp7gr9z9g7n5x>

主催: 千代田区教育委員会事務局 子ども部 指導課 03-5211-4286

第2回保護者向けセミナー

第2回「GIGAスクール構想」保護者向け
オンラインセミナー開催のお知らせ

開催日時: 令和4年2月19日(土) 午後1時30分から午後3時30分まで

「タブレット端末」の活用について
「GIGAスクール構想」について

第1部 午後1時30分から午後2時10分まで
(1) 区立小中学校のICT活用について
(2) 保護者向け「GIGAスクール構想」の活用について

第2部 午後2時10分から午後3時30分まで
講演: 株式会社 教育ネット

参加方法: YouTubeライブ配信を行います。視聴を希望される方は
2月15日(木)までに、次の二次元コード又はURLから一度
アクセスの登録を行ってください。

URL: <https://survey.ednet.net/works/Zamp7gr9z9g7n5x>

主催: 千代田区教育委員会事務局 子ども部 指導課 03-5211-4286

保護者向けリーフレット

千代田区立学校 保護者の皆様へ

子どもの学びを未来につなげる「千代田のGIGAスクール構想」
ちよだスマートスクール

「GIGAスクール構想」の実現に向け、東京市の「TOKYOスマート・スクール・プロジェクト」を受け、本区の取組の名称を「ちよだスマート・スクール」としました。

タブレットの活用から始める1日

GIGAスクール構想とは？
2019年12月に文部科学省が発表した教育改革のことで、GIGAとは「Global and Innovative Gateway for All」の略で、「すべての児童・生徒にグローバルで革新的な扉」という意味が込められています。

TOKYOスマート・スクール・プロジェクト
(学び、成長、未来の大きな扉)

令和4年度保護者向けセミナー

令和4年度「GIGAスクール構想」
保護者向けオンラインセミナーのお知らせ

今年度のICTを活用した教育の取組

資料や資料から見る
ICTを活用した教育の現状とこれから

今更だ聞けない！
そもそもGIGAスクール構想ってなに？

配信期間: 令和5年3月31日(金)まで

ちよだスマートスクール

今更だ聞けない！
そもそもGIGAスクール構想ってなに？
二次元コード、QRコード、ご参加の申し込みは、このQRコードから行ってください。

主催: 千代田区教育委員会事務局 子ども部 指導課 03-5211-4286

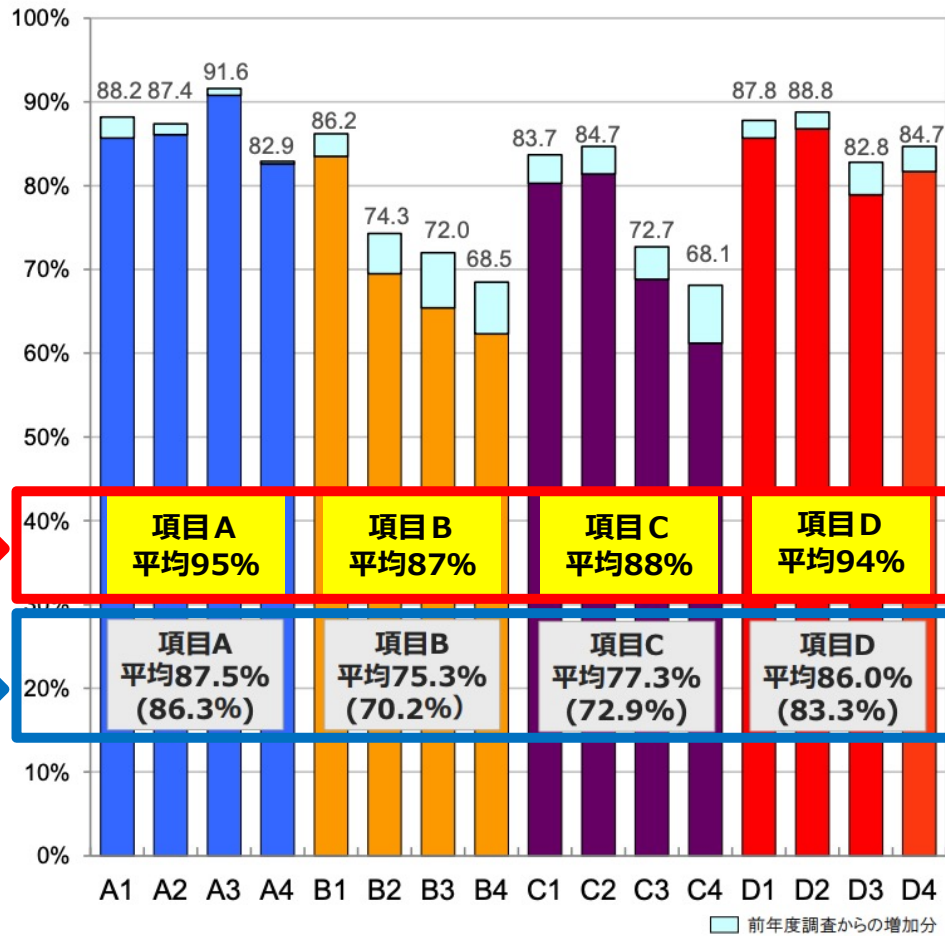
児童・生徒向けハンドブック

ICT活用
ハンドブック
小学校3～6年生

ICT活用
ハンドブック
中学校版

令和5年4月
千代田区教育委員会

教員のICT活用指導力の状況(16小項目別)



※ ()内の数値は前年度の値。
 ※ 文部科学省「教員のICT活用指導力チェックリストの改訂等に関する検討会」において、平成30年度に取りまとめられた4つの大項目(A~D)と16の小項目(A1~D4)からなるチェックリストに基づき、令和3年度において授業を担当している教員が自己評価を行う形で調査を行った。
 ※ 16の小項目(A1~D4)ごとに「できる」「ややできる」「あまりできない」「まったくできない」の4段階評価を行い、「できる」若しくは「ややできる」と回答した教員の割合を、大項目(A~D)ごとに平均して算出した値。

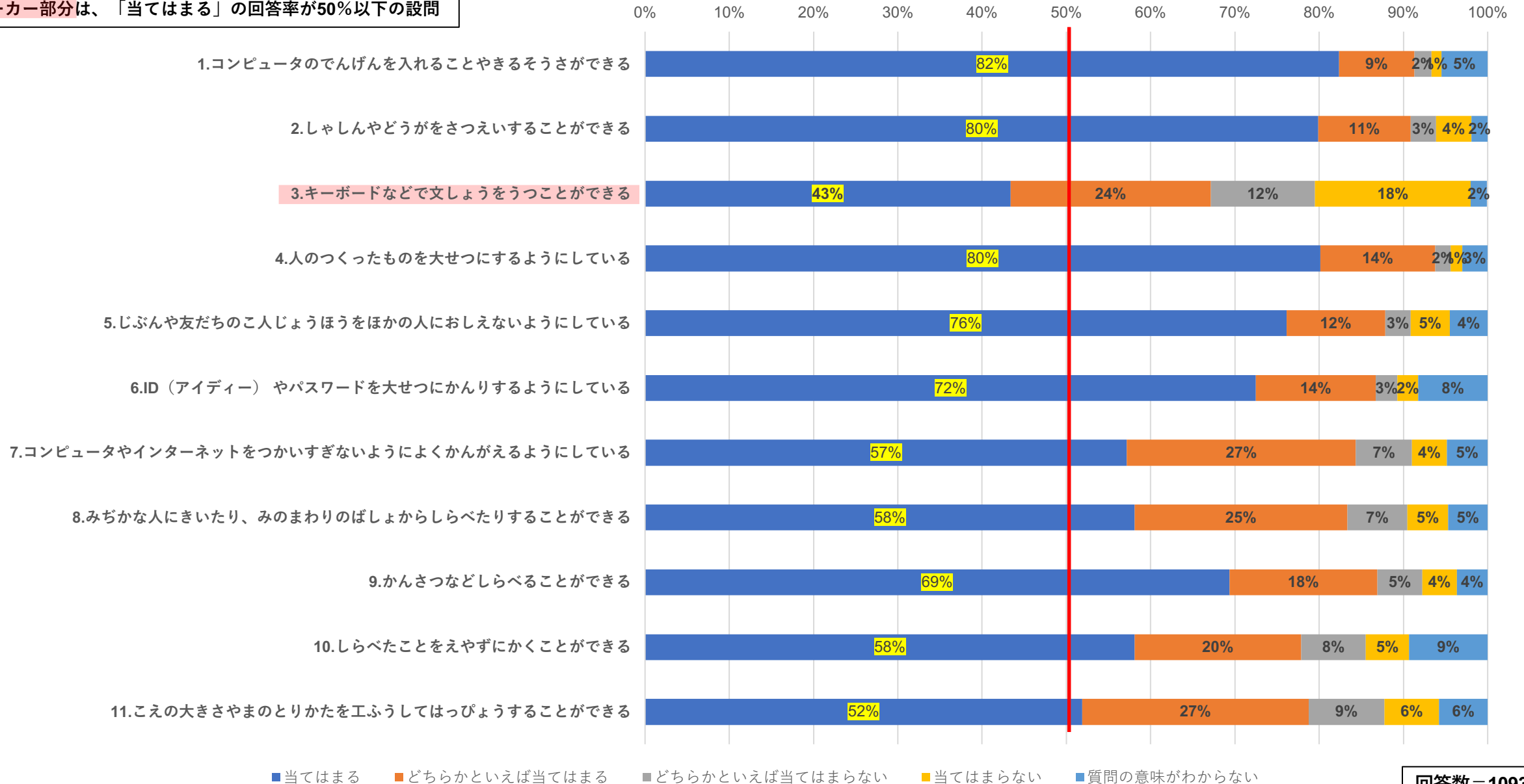
A 教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力	
A1	教育効果を上げるために、コンピュータやインターネットなどの利用場を計画して活用する。
A2	授業で使う教材や校務分掌に必要な資料などを集めたり、保護者・地域との連携に必要な情報を発信したりするためにインターネットなどを活用する。
A3	授業に必要なプリントや提示資料、学級経営や校務分掌に必要な文書や資料などを作成するためにワープロソフト、表計算ソフトやプレゼンテーションソフトなどを活用する。
A4	学習状況を把握するために児童生徒の作品・レポート・ワークシートなどをコンピュータなどを活用して記録・整理し、評価に活用する。
B 授業にICTを活用して指導する能力	
B1	児童生徒の興味・関心を高めたり、課題を明確につかませたり、学習内容を的確にまとめさせたりするために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する。
B2	児童生徒に互いの意見・考え方・作品などを共有させたり、比較検討させたりするために、コンピュータや提示装置などを活用して児童生徒の意見などを効果的に提示する。
B3	知識の定着や技能の習熟をねらいとして、学習用ソフトウェアなどを活用して、繰り返し学習する課題や児童生徒一人一人の理解・習熟の程度に応じた課題などに取り組ませる。
B4	グループで話し合って考えをまとめたり、協働してレポート・資料・作品などを制作したりするなどの学習の際に、コンピュータやソフトウェアなどを効果的に活用させる。
C 児童生徒のICT活用を指導する能力	
C1	学習活動に必要な、コンピュータなどの基本的な操作技能(文字入力やファイル操作など)を児童生徒が身に付けることができるように指導する。
C2	児童生徒がコンピュータやインターネットなどを活用して、情報を収集したり、目的に応じた情報や信頼できる情報を選択したりできるように指導する。
C3	児童生徒がワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトなどを活用して、調べたことや自分の考えを整理したり、文章・表・グラフ・図などに分かりやすくまとめたりすることができるように指導する。
C4	児童生徒が互いの考えを交換し共有して話し合いなどができるように、コンピュータやソフトウェアなどを活用することを指導する。
D 情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力	
D1	児童生徒が情報社会への参画にあたって自らの行動に責任を持ち、相手のことを考え、自他の権利を尊重して、ルールやマナーを守って情報を集めたり発信したりできるように指導する。
D2	児童生徒がインターネットなどを利用する際に、反社会的な行為や違法な行為、ネット犯罪などの危険を適切に回避したり、健康面に留意して適切に利用したりできるように指導する。
D3	児童生徒が情報セキュリティの基本的な知識を身に付け、パスワードを適切に設定・管理するなど、コンピュータやインターネットを安全に利用できるように指導する。
D4	児童生徒がコンピュータやインターネットの便利さに気づき、学習に活用したり、その仕組みを理解したりしようとする意欲が育まれるように指導する。

出典:令和3年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果(概要)

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00026.html?fbclid=IwARlmMvFloG0Eywbl-DgIo2oGfefz9fKsEBkJYbqNluhnZ7xK-NUzDeVBwJM

令和4年度 情報活用能力に関する実態調査の結果（小学校低学年）

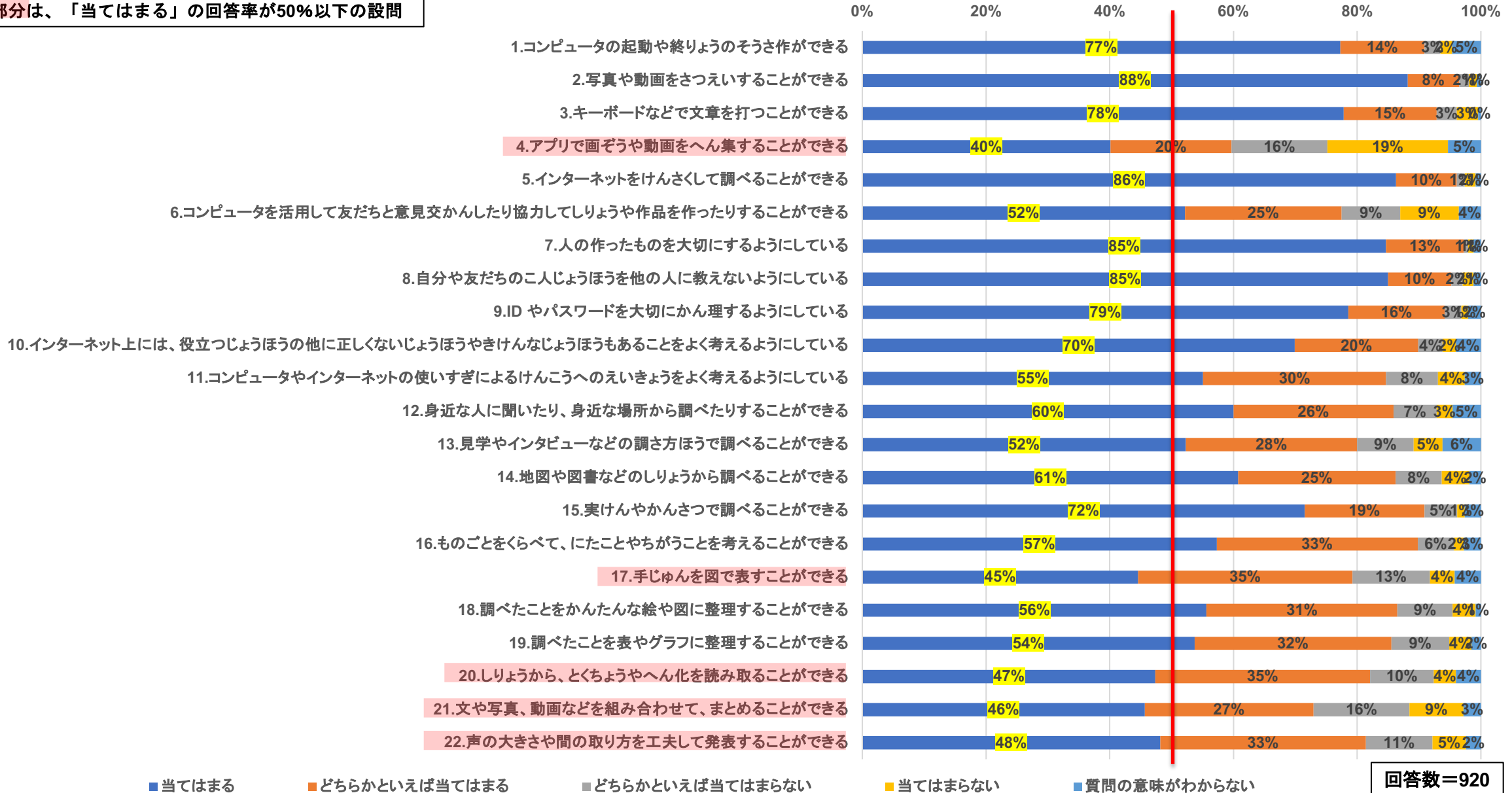
マーカー部分は、「当てはまる」の回答率が50%以下の設問



回答数 = 1093

令和4年度 情報活用能力に関する実態調査の結果（小学校中学年）

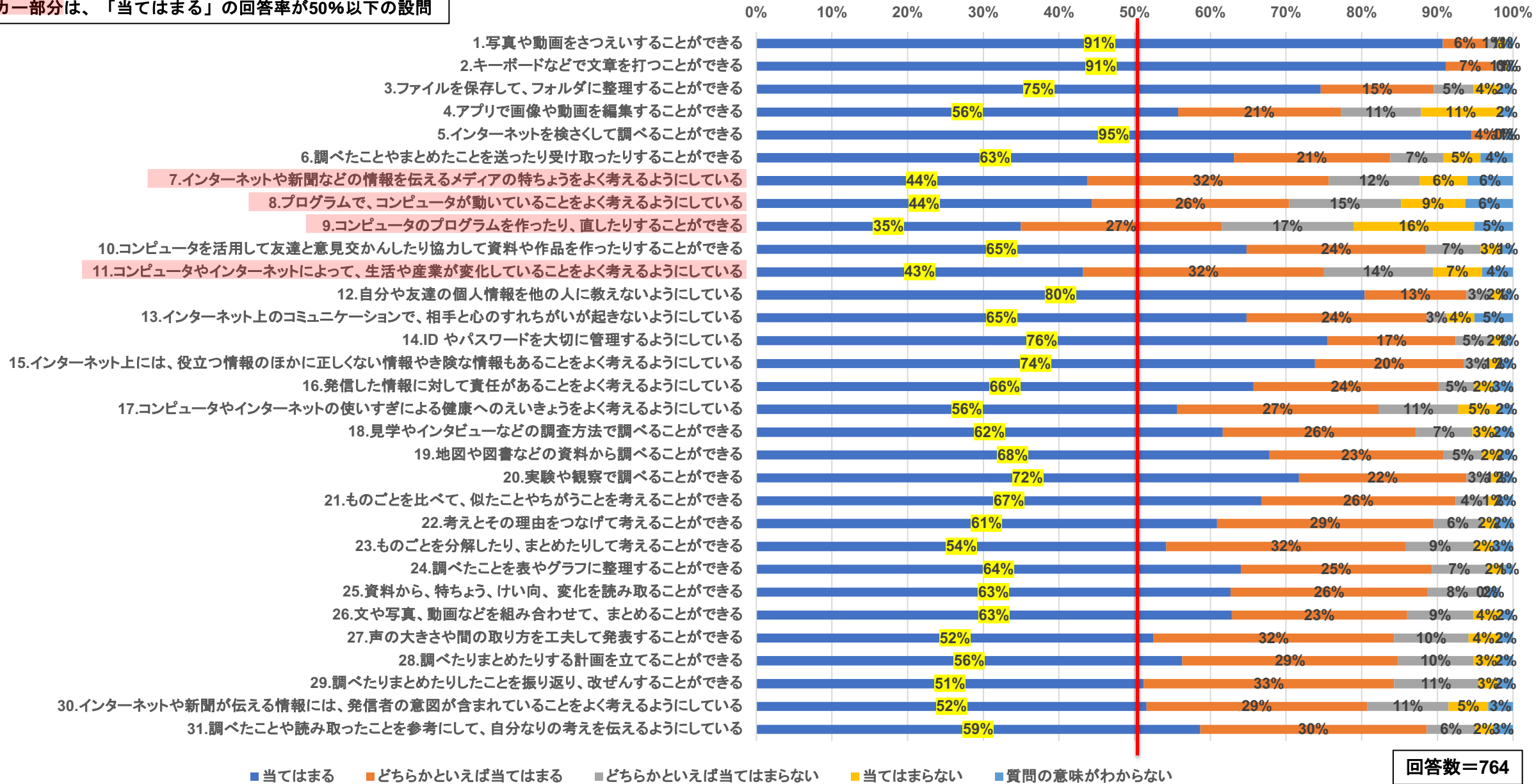
マーカー部分は、「当てはまる」の回答率が50%以下の設問



回答数=920

令和4年度 情報活用能力に関する実態調査の結果（小学校高学年）

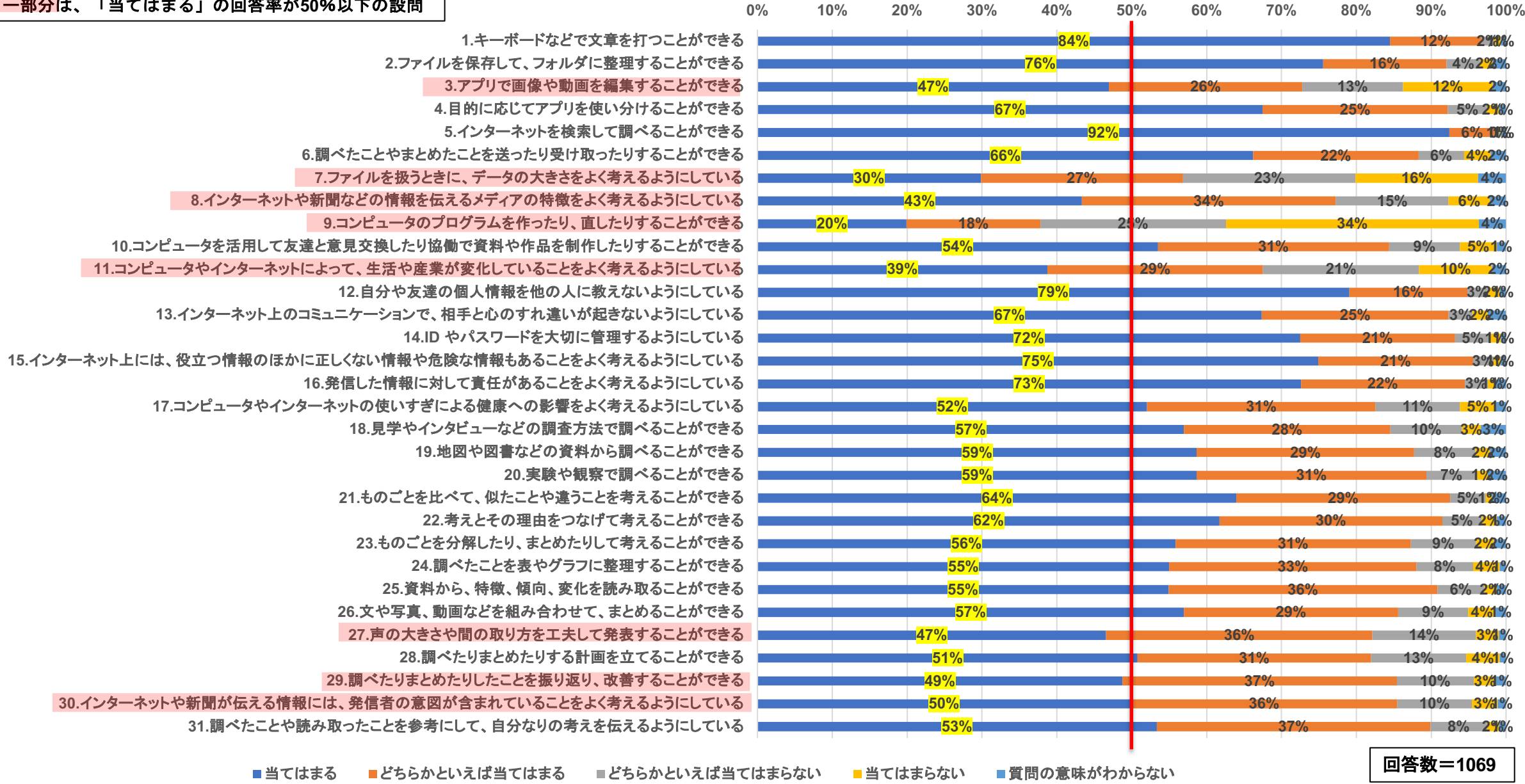
マーカー部分は、「当てはまる」の回答率が50%以下の設問



回答数=764

令和4年度 情報活用能力に関する実態調査の結果（中学校・中等）

マーカー部分は、「当てはまる」の回答率が50%以下の設問



回答数=1069

「ちよだスマートスクール」の現在地と今後の方向性



クラウドを活用した協働的な学び・探究的な学び



学習履歴	学習状況	進捗率	評価
2023/01/15	100%	100%	○
2023/01/16	100%	100%	○
2023/01/17	100%	100%	○
2023/01/18	100%	100%	○
2023/01/19	100%	100%	○
2023/01/20	100%	100%	○
2023/01/21	100%	100%	○
2023/01/22	100%	100%	○
2023/01/23	100%	100%	○
2023/01/24	100%	100%	○
2023/01/25	100%	100%	○
2023/01/26	100%	100%	○
2023/01/27	100%	100%	○
2023/01/28	100%	100%	○
2023/01/29	100%	100%	○
2023/01/30	100%	100%	○
2023/01/31	100%	100%	○

学習履歴を活用した自己調整学習

子ども自身が学習
方法を決める学び



Formsを活用したアンケート調査

教師と子どもが
つながる学び



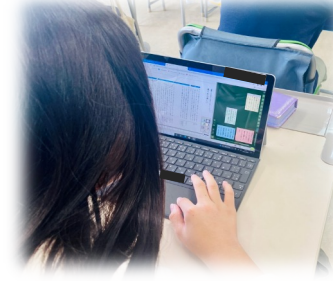
子ども同士が
つながる学び



教師は授業改善を図り、ファシリテーターへ



オンラインを活用した遠隔授業



学習者自身がデジタル教科書やデジタル教材等を活用



教師による大型提示装置の活用は
ほぼ100% (令和3、4年度アンケート調査結果)

これからの学校教育において、子供がICTを活用しながら自ら学習を調整しながら学んでいくことができるよう、「個に応じた指導」を充実することが必要

中央教育審議会 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～ 令和3年1月26日より抜粋